



2020年10月29日

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 牛尾 雅孝
 (コード番号 3513 東証第1部)

問合せ先 執行役員企画部長兼総務部長 遠山 宏幸
 (TEL. 03-3816-1111)

棚卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期(2020年4月1日～2020年9月30日)におきまして、下記のとおり、棚卸資産評価損を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年7月31日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上(売上原価)について

新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞や国内需要の縮小等を踏まえ、競争力の低下が懸念される棚卸資産について収益性の再評価を行った結果、棚卸資産評価損170百万円を売上原価に計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正

2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,800	60	140	80	17円50銭
今回修正予想(B)	5,800	21	127	141	30円83銭
増減額(B-A)	—	△39	△13	61	—
増減率(%)	—	△65.0	△9.3	76.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	5,933	108	165	108	23円38銭

(2) 修正の理由

当第2四半期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の悪化や当社グループを取り巻く厳しい市場環境の中、懸命な受注活動が奏功し、売上高は概ね計画どおり進捗いたしました。

利益面につきましては、棚卸資産評価損を計上したことにより営業利益は前回公表の数値を下回る一方、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回公表の数値を上回る見込みであります。

以上によりまして、業績予想を修正するものであります。

なお、通期業績予想数値につきましては、現時点では2020年7月31日公表の予想数値を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在における将来の経営環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以上